



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5189 URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 中野 伍朗 TEL 03-3466-2171
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,995	17.9	330	42.0	355	44.5	231	28.8
24年3月期第2四半期	3,390	△18.4	232	△18.8	245	△7.3	179	△4.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 221 百万円(26.4 %) 24年3月期第2四半期 175 百万円(2.0 %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	23.22	—
24年3月期第2四半期	18.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,827	3,553	36.2
24年3月期	11,185	3,382	30.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,553 百万円 24年3月期 3,382 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	△25.2	400	△52.2	350	△58.2	200	△22.8	20.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期 2Q	10,120,000 株	24年3月期	10,120,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期 2Q	169,083 株	24年3月期	167,252 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期 2Q	9,952,299 株	24年3月期 2Q	9,953,352 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書（第2四半期連結累計期間）	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー減税などの政策効果に支えられ国内需要を中心に期間前半の景気は緩やかに持ち直したものの、その後は燃り続ける欧州債務問題による世界経済への波及、中国や新興国経済の減速、長期化する円高の影響などにより景気は停滞色を強めており、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況のもとで当社グループといたしましては、新事業の展開、付加価値の高い製品の企画・開発、生産性の向上、金融収支の改善などの努力をいたしました。

その結果として、売上高は39億9千5百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益3億3千万円（前年同期比42.0%増）、与信コストの減少により経常利益3億5千5百万円（前年同期比44.5%増）、四半期純利益2億3千1百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<消防・防災事業>

消防・防災事業では、補正予算関係の販売増と民間企業のBCP対策の販売増により、売上高は19億3千9百万円（前年同期比36.3%増）、セグメント利益（営業利益）は8千万円（前年同期比1094.2%増）となりました。

<航空・宇宙、工業用品事業>

航空・宇宙部門では、災害派遣の作業用防護衣などの販売減があったものの、在来機の交換部品などの増加があり売上高は13億7千万円となりました。

工業用品部門では、タンクシールなどの販売が増加し売上高は4億5千3百万円となりました。

その結果、航空・宇宙、工業用品事業の売上高は18億2千3百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益（営業利益）は2億8千1百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業は、新商業施設の管理業務を受託したことにより売上高は2億3千2百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益（営業利益）は8千8百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間における流動資産は65億5千8百万円（前連結会計年度末比12億9千9百万円減）となりました。主として、売上債権回収により受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。また、固定資産は32億6千9百万円（前連結会計年度末比5千8百万円減）となりました。主として、有形固定資産の減価償却によるものです。

この結果、資産合計は98億2千7百万円（前連結会計年度末比13億5千7百万円減）となりました。

② 負債

当第2四半期連結会計期間における流動負債は43億1千7百万円（前連結会計年度末比12億5千4百万円減）となりました。主として、仕入債務支払により支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。また、固定負債は19億5千6百万円（前連結会計年度末比2億7千4百万円減）となりました。主として、社債の減少によるものです。

この結果、負債合計は62億7千3百万円（前連結会計年度末比15億2千9百万円減）となりました。

③ 純資産

当第2半期連結会計期間における純資産は35億5千3百万円(前連結会計年度末比1億7千1百万円増)となりました。主として、四半期純利益による増加と配当金支払による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、震災からの復興需要などを背景に緩やかな回復基調にあるものの、エコカー減税の終了、欧州債務問題による欧州経済の減速と中国・新興国の景気減速、長期化する円高、国及び地方の財政問題など景気の先行きは厳しい状況で推移するものとみられます。

このような状況の中で、消防防災部門において補正予算関連及び民間企業BCP対策の販売が寄与したことで、与信コストの圧縮により利益面において予想を上回る見込みとなりました。

以上の状況を踏まえ業績予想の見直しを行った結果、第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、前回発表した数値を上回る見込みとなったため平成24年11月2日に修正発表を行いました。

なお、平成24年5月14日に発表いたしました通期業績予想につきましては、今後の景気動向が極めて不透明であることや、特例公債法案の成立、復興予算の新仕分けなど国及び地方行政の予算執行も不透明な状況にあることから、現時点では当初の業績予想に対して修正はありません。通期業績予想に見通しが立ち、修正の必要がある場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,139,630	1,711,460
受取手形及び売掛金	3,532,575	2,181,115
商品及び製品	126,270	178,966
半製品	384,304	479,381
仕掛品	1,008,222	1,030,226
原材料及び貯蔵品	436,997	469,475
その他	288,267	528,206
貸倒引当金	△58,966	△20,667
流動資産合計	7,857,302	6,558,166
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,719,335	1,685,825
土地	1,078,769	1,078,769
その他（純額）	190,805	184,536
有形固定資産合計	2,988,910	2,949,132
無形固定資産	32,169	29,606
投資その他の資産		
投資有価証券	128,519	139,085
その他	216,502	151,806
貸倒引当金	△38,336	△221
投資その他の資産合計	306,685	290,671
固定資産合計	3,327,766	3,269,410
資産合計	11,185,069	9,827,576

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,055,939	923,986
短期借入金	1,320,000	1,340,000
1年内償還予定の社債	86,000	266,000
1年内返済予定の長期借入金	937,265	865,878
未払法人税等	393,706	106,871
賞与引当金	227,202	212,696
役員賞与引当金	54,000	24,000
その他	497,499	577,869
流動負債合計	5,571,613	4,317,301
固定負債		
社債	400,000	167,000
長期借入金	905,228	882,981
退職給付引当金	358,862	328,769
役員退職慰労引当金	144,421	155,041
年金資産消失損失引当金	175,163	175,163
資産除去債務	10,235	10,352
その他	237,502	237,153
固定負債合計	2,231,412	1,956,462
負債合計	7,803,025	6,273,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	2,641,302	2,822,585
自己株式	△45,655	△45,987
株主資本合計	3,387,077	3,568,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,653	△14,215
繰延ヘッジ損益	△1,381	—
その他の包括利益累計額合計	△5,034	△14,215
純資産合計	3,382,043	3,553,812
負債純資産合計	11,185,069	9,827,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,390,637	3,995,954
売上原価	2,343,060	2,811,264
売上総利益	1,047,576	1,184,690
販売費及び一般管理費	815,019	854,501
営業利益	232,556	330,188
営業外収益		
受取利息	100	113
受取配当金	1,700	2,915
貸倒引当金戻入額	35,373	40,983
その他	21,815	21,385
営業外収益合計	58,990	65,397
営業外費用		
支払利息	32,601	29,324
社債利息	3,099	2,788
社債発行費	2,609	—
その他	7,454	8,245
営業外費用合計	45,764	40,358
経常利益	245,782	355,228
特別利益		
固定資産売却益	4,063	—
不動産賃貸料改定収入	20,074	—
特別利益合計	24,137	—
特別損失		
固定資産除却損	22	—
特別損失合計	22	—
税金等調整前四半期純利益	269,897	355,228
法人税、住民税及び事業税	99,827	82,873
法人税等調整額	△9,258	41,308
法人税等合計	90,568	124,181
少数株主損益調整前四半期純利益	179,328	231,046
四半期純利益	179,328	231,046

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	179,328	231,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,688	△10,562
繰延ヘッジ損益	6,923	1,381
その他の包括利益合計	△3,765	△9,181
四半期包括利益	175,563	221,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,563	221,865
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	269,897	355,228
減価償却費	89,953	69,600
のれん償却額	2,563	2,563
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35,373	△76,413
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,900	△14,506
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23,400	△30,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△13,877	△30,092
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△39,294	10,620
受取利息及び受取配当金	△1,801	△3,028
支払利息	35,701	32,113
社債発行費	2,609	—
固定資産売却損益 (△は益)	△4,063	—
固定資産除却損	22	—
売上債権の増減額 (△は増加)	238,032	1,351,460
たな卸資産の増減額 (△は増加)	30,685	△202,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	△134,199	△1,131,953
その他	△111,559	△113,115
小計	315,797	220,220
利息及び配当金の受取額	1,801	3,028
利息の支払額	△35,955	△32,284
法人税等の還付額	56,441	—
法人税等の支払額	—	△366,941
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,084	△175,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△39,250	△32,439
有形固定資産の売却による収入	4,362	—
投資有価証券の取得による支出	△621	△20,069
貸付金の回収による収入	1,200	—
事業譲受による支出	△35,000	—
その他	△7,476	△22,954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,786	△75,462
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	97,390	—
社債の償還による支出	△149,000	△53,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	190,000	20,000
長期借入れによる収入	460,000	460,000
長期借入金の返済による支出	△620,560	△553,634
自己株式の取得による支出	△116	△332
配当金の支払額	△49,767	△49,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,053	△176,729
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	179,243	△428,169
現金及び現金同等物の期首残高	1,409,561	1,960,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,588,805	1,532,260

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,423,349	1,745,463	221,824	3,390,637	—	3,390,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	6,420	6,420	△6,420	—
計	1,423,349	1,745,463	228,244	3,397,057	△6,420	3,390,637
セグメント利益	6,760	274,024	83,193	363,978	△131,421	232,556

(注) 1 セグメント利益の調整額△131,421千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

航空・宇宙、工業用品事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に有限会社川尻機械製作所の事業を譲受けしたことにより、のれんを25,632千円計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,939,581	1,823,928	232,444	3,995,954	—	3,995,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4,560	4,560	△4,560	—
計	1,939,581	1,823,928	237,004	4,000,514	△4,560	3,995,954
セグメント利益	80,725	281,278	88,747	450,751	△120,562	330,188

(注) 1 セグメント利益の調整額△120,562千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。